

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/08/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

中国経済減速と米金利上昇が上値圧迫

NY原油先物相場は、1バレル=77.59ドルまで下落して7月24日以来の安値を更新した後、79ドル台後半まで切り返す展開になった。中国経済の減速懸念、米長期金利の急伸とドル高を受けて、80ドル割れの取引時間が増えた。しかし、需給ひっ迫に対する根強い警戒感、米原油在庫の減少傾向のサポートもみられ、大きな値動きには発展しなかった。

中国経済の減速懸念が上値を圧迫する展開が続いている。非鉄金属相場などは中国政府の景気対策期待に下値をサポートされているが、原油相場は上値の重さが目立った。また、米長期金利上昇・ドル高・株安傾向も上値圧迫要因になった。米経済の底固さが、米連邦準備制度理事会（FRB）の高金利政策を支持するとの見方を強めており、投資家のリスク選好性が後退している。ただし、8月25日のパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演後は株価反発と連動して、原油相場も一時80ドル台を回復するなど底固さを見せた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月18日時点）は、原油が前週比613万バレル減、ガソリンが147万バレル増、石油精製品が95万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給ひっ迫で押し目買い優勢、中国経済減速と米金利動向に注意

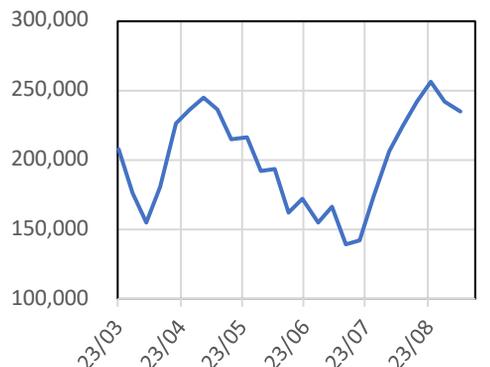
需給ひっ迫見通しが維持される中、押し目買い優勢の展開が維持されよう。中国経済の減速懸念が資源価格全体の上値を圧迫する展開が続く見通しだが、原油需給のひっ迫見通しに大きな変化は生じない見通し。世界的な在庫取り崩しが原油価格を押し上げるトレンドは維持される可能性が高く、中国経済の減速懸念や米金利上昇・ドル高などで値下がりする局面では物色妙味が維持されよう。逆に急伸対応が求められる環境でもなくなっているが、80ドル割れでの物色妙味は維持される見通し。

米原油在庫の減少傾向が続いている。在庫水準は今年最低を更新している。製油所向け原油需要は底固さを維持する一方、国内産油量の急増などは見送られており、徐々に在庫が引き締まっていることはポジティブ。更に在庫の取り崩しが進むと、期近限月主導の上昇トレンドが維持されよう。

また、サウジアラビアが9月に続いて10月も自主減産を継続するとの観測が強くなっていることもポジティブ。原油相場が伸び悩むと、このまま日量100万バレルの自主減産が継続される可能性が高まる。

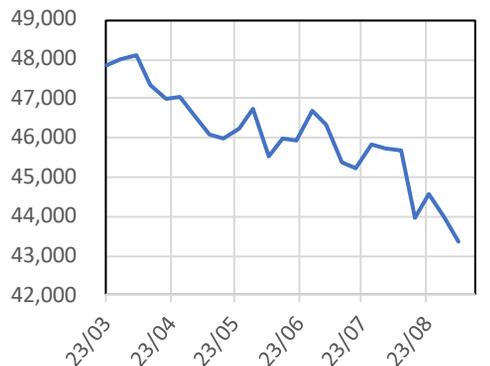
注意が必要なのは、米長期金利の動向だ。8月入りしてから高金利政策の長期化観測を織り込む形で米長期金利が今年最高の利回りを更新し、つれてドル高や株安圧力が原油相場の上値を圧迫している。更に米長期金利が急伸するリスクに対しては注意が求められよう。ただし、8月25日のパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の講演を無難に消化したことで、金利環境が落ち着きを取り戻すのであれば、株価連動で原油相場も下値を固める展開になろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



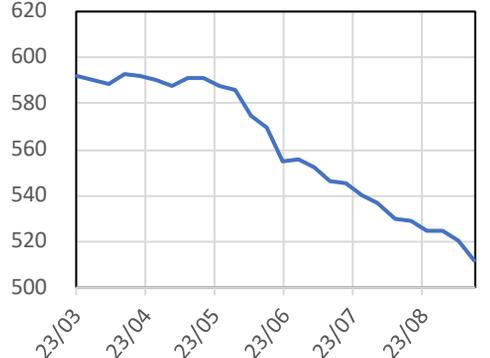
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

